

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	篠山市立城東小学校	研究グループ名	60
属・職・氏名	教諭 依田 善裕	篠特推進 WG	

研究テーマ分類番号 (15)

(1) 研究テーマ	
篠山市の今後の特別支援教育推進に向けた一考察	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
1	篠山市の特別支援教育の更なる充実を推進するためのアンケート調査の実施 (篠山市特別支援教育に関するアンケート) 実施過程及び今後の予定 ・ 6月5日～10月9日 アンケート作成 ・ 10月9日 アンケートの印刷・仕分け ・ 10月25日 アンケートの配布 (市内幼稚園・小学校・中学校) ・ 11月25日 アンケート回収 ・ 11月25日～ アンケートの集計 ・ 1月以降 集計結果の分析及びまとめ
2	視察研修 (1) 日 時 平成26年10月30日(木) 13:15～16:30 (2) 視察先 伊丹市立総合教育センター 伊丹市千僧1丁目1番地 (3) 内 容 特別支援教育(教育相談、支援)に関する業務内容について ①施設の見学 ②業務内容の説明 ③質疑応答 (4) 聞き取り・見学内容 ※総合教育センター指導主事より説明を受けた。 ・ 伊丹市立総合教育センターについて ・ 伊丹市立総合教育センターの教育相談について ・ 伊丹市特別支援学校の教育相談について ・ 伊丹市のこども福祉や各関係機関との連携について ・ 伊丹市児童発達支援センターについて (5) 視察の成果 今回の視察を通して、今後の篠山市の特別支援教育体制整備のさらなる整備に向けて、手掛かりとなる情報を得ることができたことは、大きな成果であった。特に以下の2点については是非参考にしていきたい。 ・ 篠山市とは人口規模が違うが、とても充実した総合教育センターであった。通常の教職員が自由に研修に使える設備が整備されていたり、特別支援教育の教育相談の総合的な窓口としても一本化にふさわしい機能を備えていると感じた(医療、福祉機関と連携した教育相談、心理士が在籍し各種心理検査も可能な教育相談、具体的には、相談→心理検査→医者や心理士による助言や診断という仕組みがセンター内に全て組み込まれている)。 ・ 児童発達支援センター設立に向けては、篠山市と同様の課題があり、特に教育サイドがどのようにそのセンターに入り込むかについては、慎重に検討がなされているようであった。また設立にあたっては、ワーキンググループを立ち上げ、そこで福祉サイドの意見、教育サイドの意見を十分に集約して設立に向けた検討がなされている点は、篠山市についても参考になる点が多いと思われた。